

情報公開の流れを先取りする藤沢市のインターネット活用事例

市民参加型の「共生的自治」

昨年この白書で取り上げられた藤沢市の事例を再度取り上げる。その理由は、ブームによってホームページを公開したがほとんど更新していない自治体が目立つ中、着実にインターネット利用の実績を積み上げているためである。藤沢市は「共生的自治」実現をかねて市民電子会議室を開設している。「共生的自治」とは、市民と行政とのパートナーシップを基調とした行政運営を行うことであり、共生のためには単に行政も市民からの提案を「聞き置く」だけでなく、対等の立場に立って市民と対話することが必要である。そのための道具として、インターネット上の市民会議室を利用している。昨年版の白書の時点でも、市の「環境基本計画」について市民から意見をもらうための会議室を開設し、市職員も参加して議論していたが、1998年度には「都市マスタープラン」「総合基本計画」について同様の会議室を設け、投稿された意見、行われた議論を極力反映するような姿勢を続けている。電子会議室の運営は公募により選出された運営委員会が行っているが、特筆すべきことは運営委員会会議室も参加者に公開していることである。これは最近の情報公開の流れを先取りしたものであり、地方分権を進めていくうえでもこのような試みは重要である。肝心な参加者の数であるが、1999年3月現在の参加者は901名であり、市民参加型の自治体の会議室では最大級であろう。しかし、郵政省の調査(98年1月)では全人口の6.4%がインターネットを利用しているとのことであり、これを藤沢市にあてはめると9,300世帯がインターネットを利用していることになる。901名はまだ1割の打率であり、さらに参加者を増やす努力が求められていると言えよう。同様の電子会議室による市民参加の試みが、隣の和천시でも行われている。和천시は市の総合計画の第2次基本計画策定にあたり市民との意見交換のために電子会議室を開設した。「都市環境について考える」「地域の情報について考える」「計画

や施設作りへの市民参加について考える」などの会議室があり活発に議論している。

情報提供の仕組み

さて、藤沢市では「共生的自治」を「市政情報提供システム」「市民提案システム」「市政反映システム」で構成し、電子会議室は「市民提案システム」の取り組みの1つとされている。この3つは自治体が今後備えるべき機能であると言っていいだろう。その1つ「市政情報提供システム」、すなわち行政およびその地方の実態について情報を提供していく仕組みも「提案システム」に劣らず重要であることは言うまでもない。この方面で進んでいるのは神奈川県である。たとえば神奈川県の環境のページ「かながわの環境」では大気・水質の現況という基礎データから、化学物質の情報まで充実している。条例・指針・計画のページは適時環境庁のページも利用するなどの工夫もされている。また、神奈川県は、藤沢市のような充実した電子会議室を持っているわけではないが、県民の意見を集めることに消極的だというわけではない。たとえば県の情報公開条例の改訂にあたっては県民から広く意見を募集しており、募集後の条例案を見ると、県民から募集した意見を真摯に検討しとりこもうとした形跡が見られる。

最後の「市政反映システム」は今後伸びすべき分野である。そのためには議会、従来から地域で活動している団体、NPOなどとの密な連携が求められよう。その芽も少しずつできてきている。たとえば神奈川県の議会のページでは、「あなたの声を県政に」として議会への請願・陳情のやり方をこと細かに説明しており、「陳情」が本来は市民参加のツールであることを思い起こさせてくれて楽しい。また、和천시ではCyber Planning Projectと称し、国内外のまちづくり関連のページへのリンク集、まちづくり文献・まちづくりNPO・まちづくりコンサルタントデータベースなどの情報を集めており、市民が本来自分たちのものである

「まちづくり」について勉強できるようにしてある。このような動きが、自治体が本来の意味での自治(自分たちで治める)体への脱皮を促すものであり、インターネットはそのツールとして当分は有益なものであり続けるであろう。

(鍋本孝昭

インター・コミュニティ・ネットワーク理事)

参考URL

かながわの環境

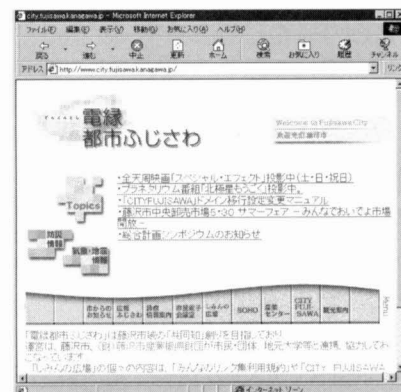
<http://www.fsnet.or.jp/~k-center/index.htm>

神奈川県議会からのお知らせ

<http://www.pref.kanagawa.jp/gikai/pg/koe.htm>

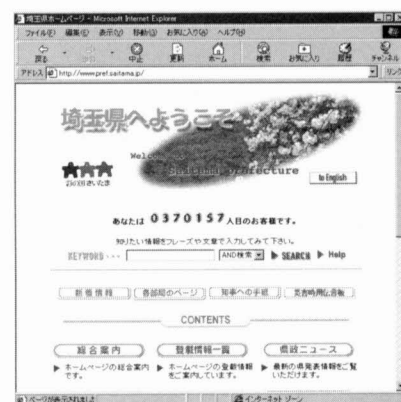
和천시ホームページ

<http://www.city.yamato.kanagawa.jp/>



藤沢市のホームページ

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



埼玉県のホームページでは、インターネットによる情報公開への取り組みを進めている
<http://www.pref.saitama.jp/>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp